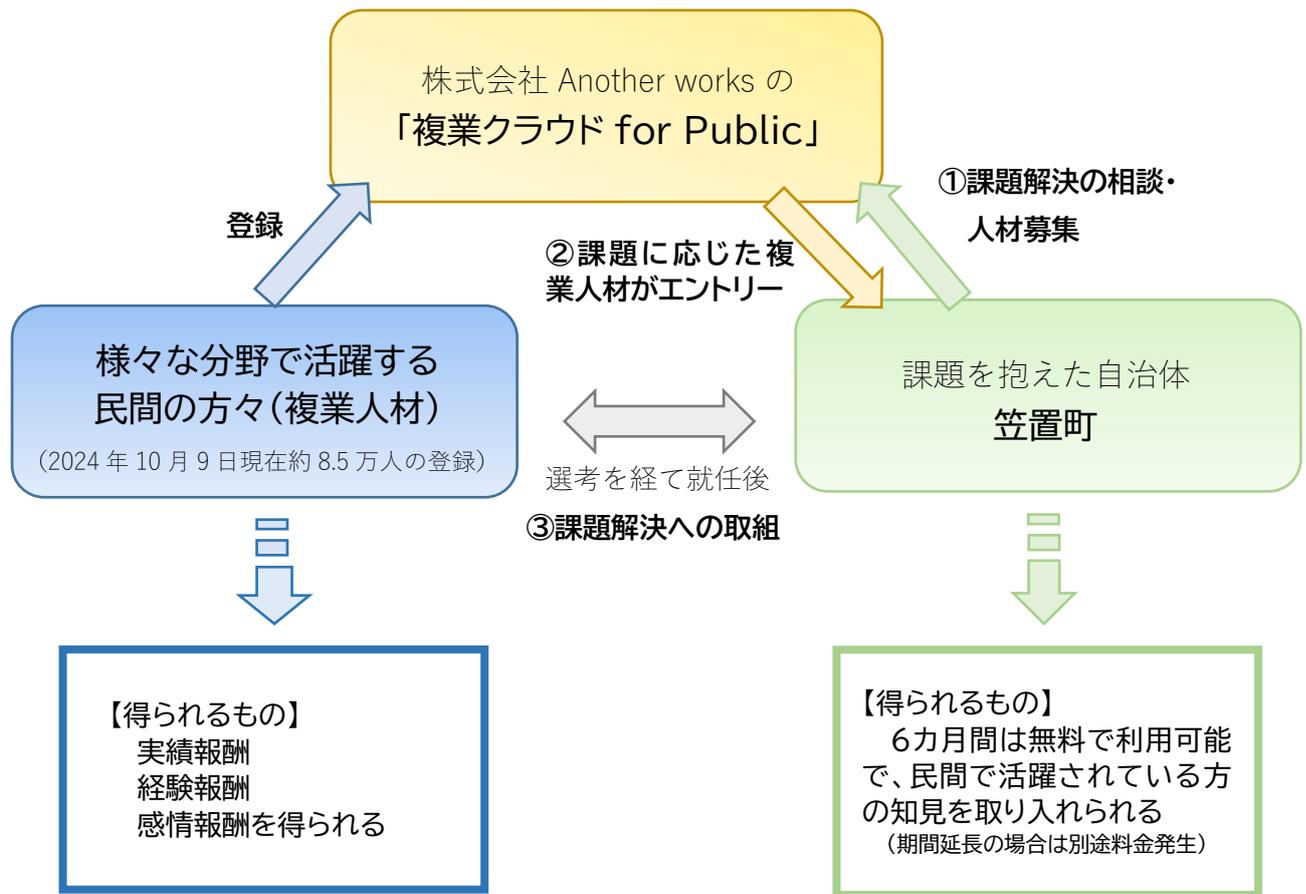


複業クラウド for Public による複業人材登用の仕組み



【今回複業クラウド for Public を通じて相談したまちの課題について】

人口が少なくても行政が担わなければならない業務数は、こなす処理数こそ違いますが、人口規模の大きなところと変わりありません。

笠置町は 50 人の職員定数を条例で定めており、当然ながら、1 人の職員が 1 担当だけではなく、複数の業務を抱えています。

そうした中で、結果として職員 1 人が抱える負担が多くなることもあり、また、負担量だけでなく、業務の組み合わせに疑問を感じるとの声もあることから、こうした事象を解消すべく、先ずは各業務の見える化から始めてはどうかと考えました。

見える化を通じて業務負担の平準化や組織としての強化を図り、最終的には住民サービスの更なる向上を目指すものです。